

内容：

- ・家庭学習用教材活用状況2月報告
- ・四條畷市立あおぞら幼稚園通園送迎車の披露会が行われました

## 家庭学習用教材活用状況2月報告！

### ○家庭での学習習慣の定着に成果が表れています

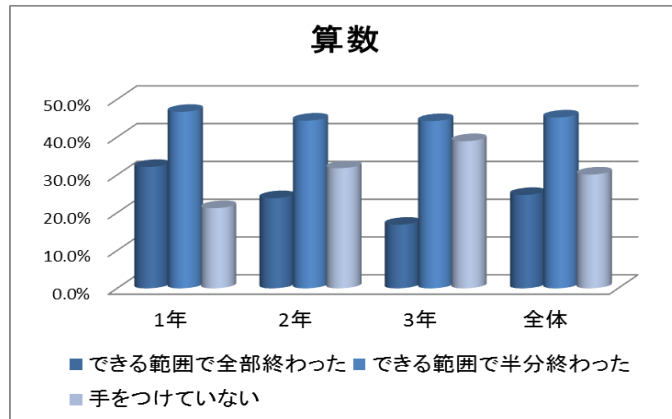
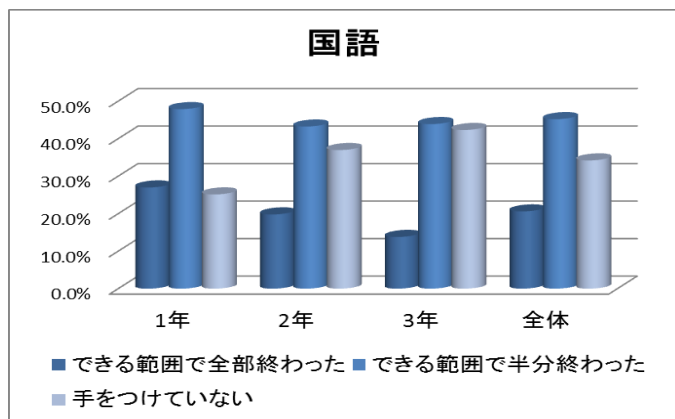


小学校1年生から3年生の子どもたちの家庭学習の習慣化を図るため、昨年7月に学習教材を配布してきました。学力向上対策プロジェクトチーム会議では、10月に引き続き2月に家庭学習用教材の活用状況について、アンケートを実施しました。保護者の皆様のご理解・ご協力により、一年間の成果と課題が明確となり、次年度以降の取組みを計画する上で大いに参考となりました。また、保護者の子どもへの働きかけが以前より積極的になされた結果、学習習慣の定着が図られたことがうかがわれます。

### 家庭学習用教材アンケート2月集計と10月・2月比較結果を報告します

#### ☆家庭学習用教材アンケート2月集計☆

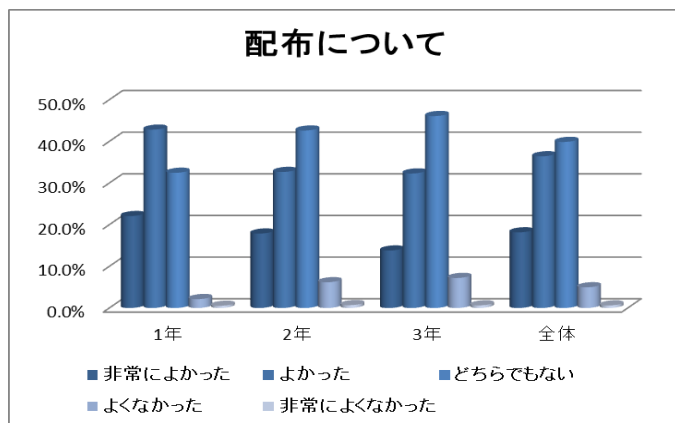
#### 問1 家庭学習用教材の進み具合は？



下の学年の方が、「できる範囲で全部終わった」児童の割合が多くより積極的に取り組んでいます。また、今後春休みの使用も考えられます。

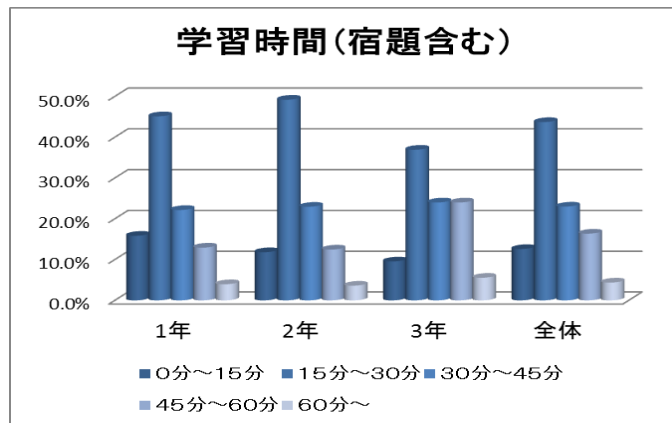
国語と同様の傾向がありますが、「全部終わった」割合が、国語より高く、「手をつけていない」は低いです。国語より取り組みやすかったようです。

#### 問2 今回の家庭学習用教材の配布について？



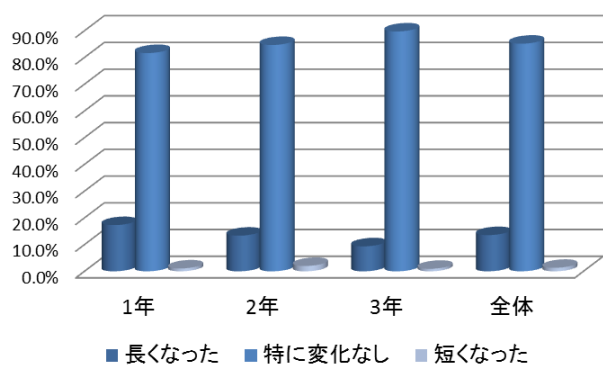
配布について否定的な声はほとんどなく、概ね好評だったといえます。しかし、「どちらでもない」が多く、今後は取組みの工夫が必要と考えます。

#### 問3 お子様の家庭での学習時間は？（宿題も含む）

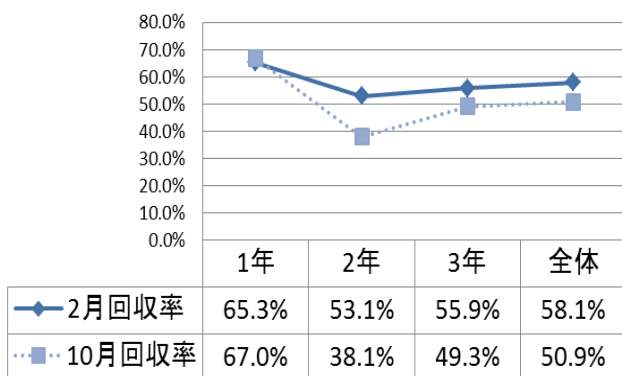


1、2年生は、ほぼ同じような傾向で30分程度が多い。3年生になると45分以上の割合が増え、低学年より学習時間が増えています。

### 学習時間の変化



### 回収率

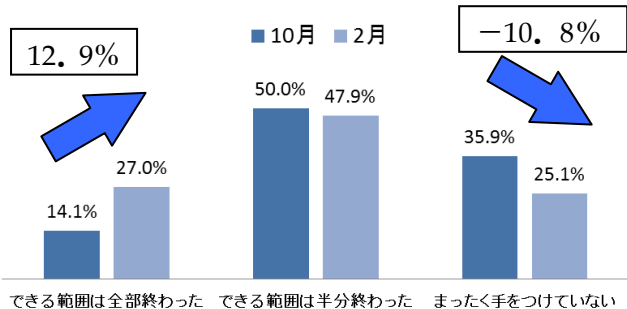


今回の取組みだけでは、家庭学習時間に大きな変化は見られませんでした。下の学年の方が、長くなった割合が多く、効果が大きいといえます。

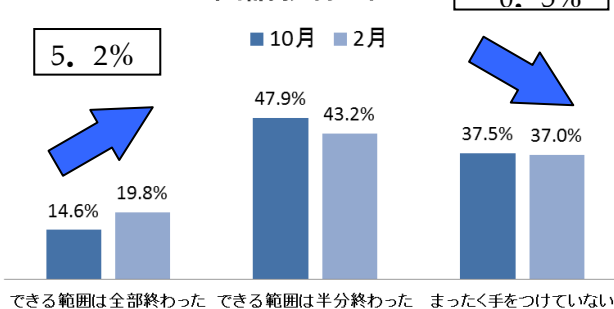
全体の回収率は、前回より7.2%上がりました。各校の取組みの成果と、保護者の皆様の家庭学習に対する意識の向上がうかがえます。

### ☆家庭学習用教材アンケート10月と2月比較結果☆ <国語>

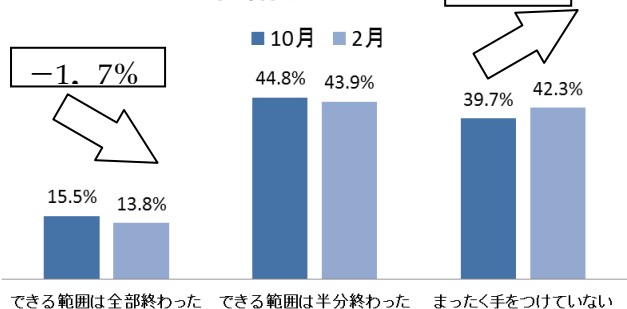
#### 国語教材1年生



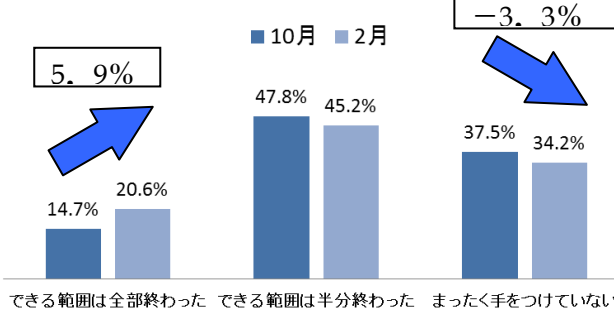
#### 国語教材2年生



#### 国語教材3年生

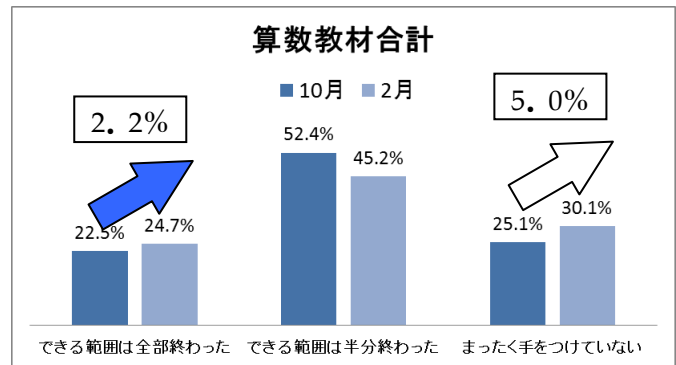
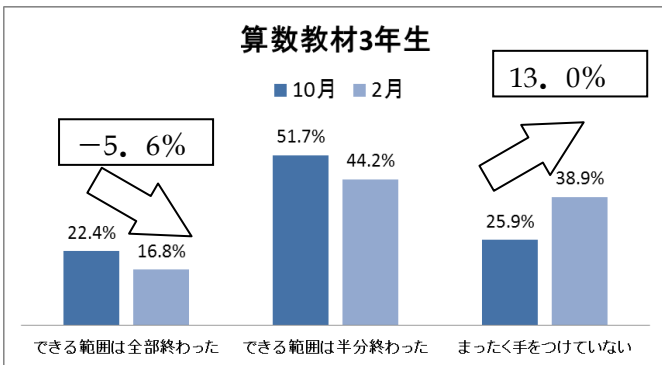
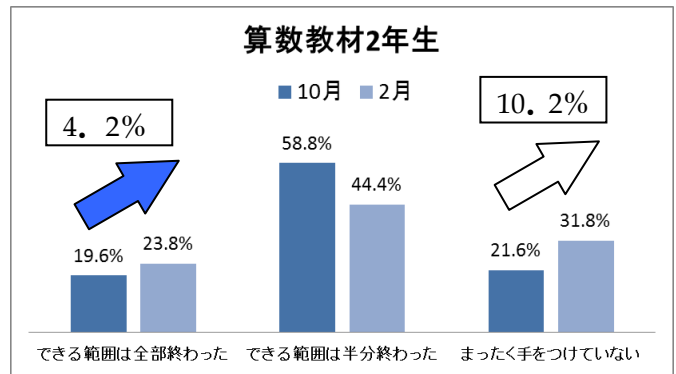
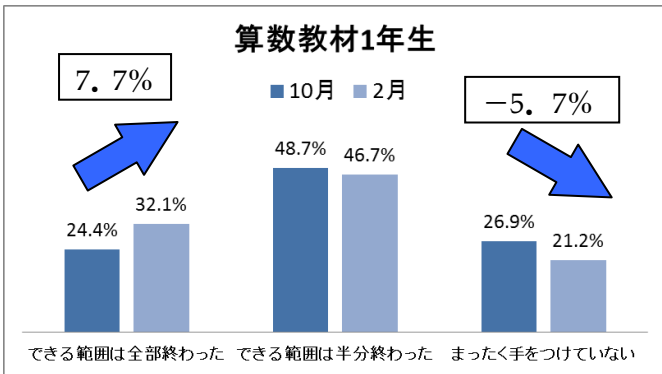


#### 国語教材合計



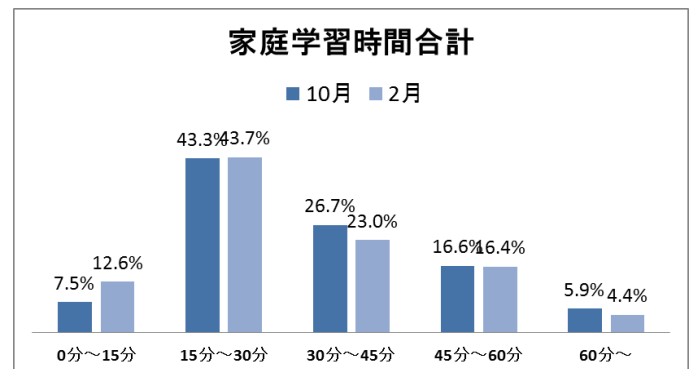
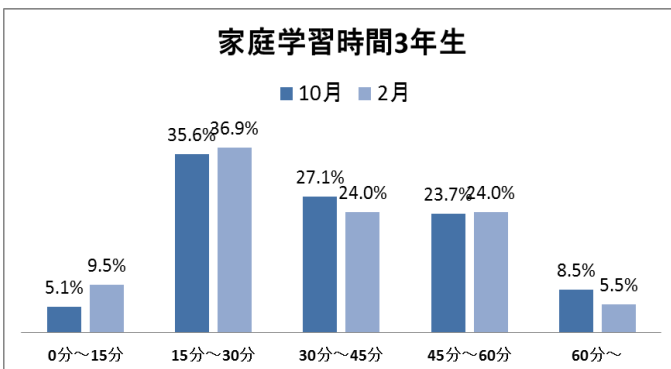
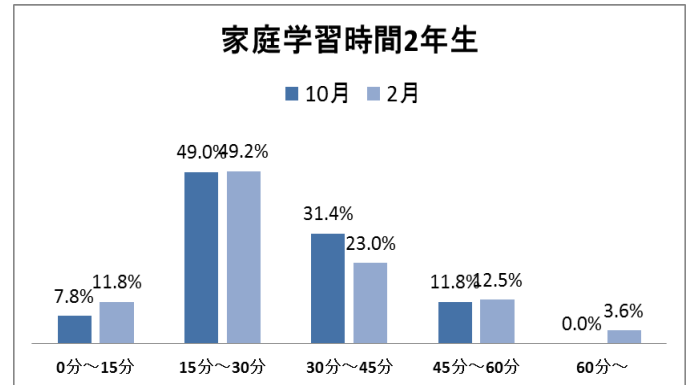
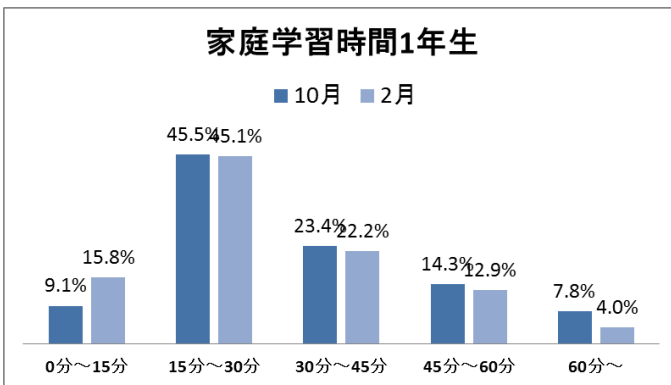
全体的に見て、2月は10月に比べると、教材がより活用されたことがわかります。学年別では、1、2年生は、「できる範囲は全部終わった」が2月は10月よりポイントが上がっています。また、「全く手をつけていない」のポイントは2月の方が下がっており、積極的に活用していただいている事がわかります。

<算数>



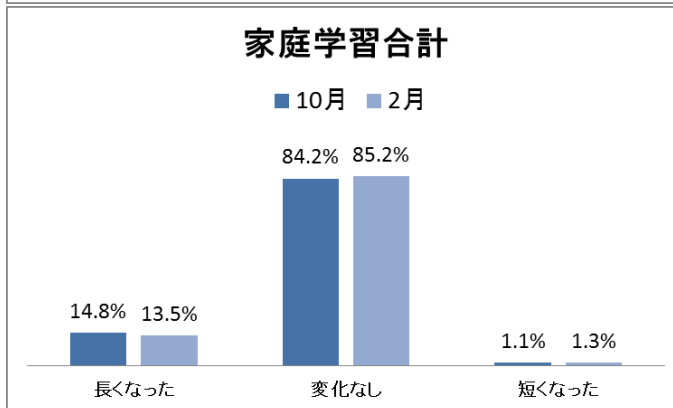
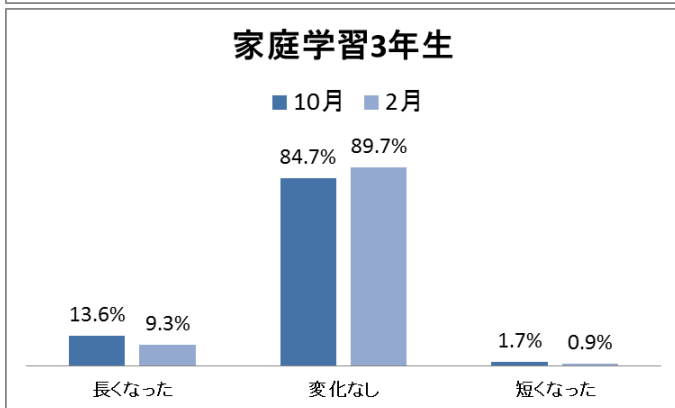
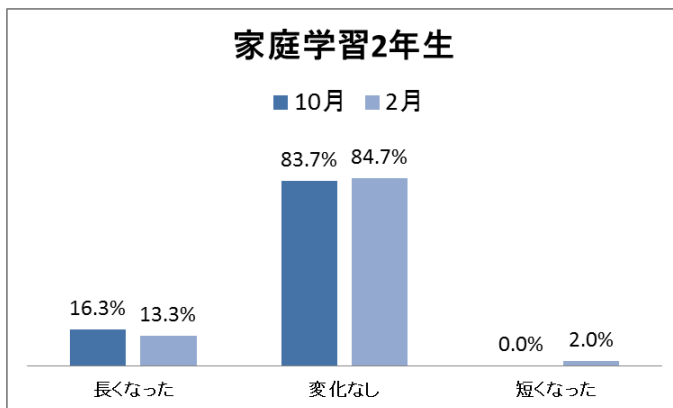
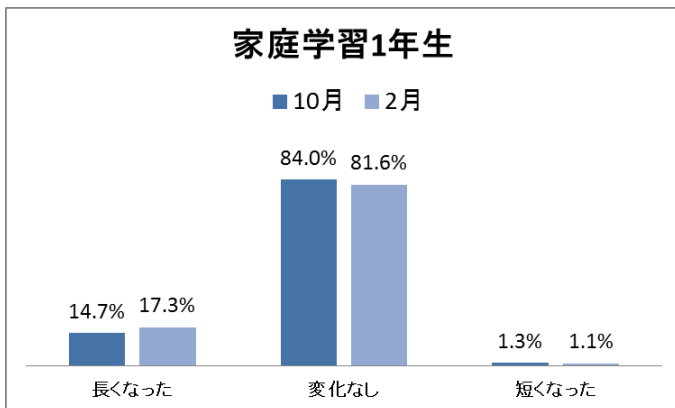
全体的には国語と似た傾向ですが、数値的に見て国語より活用されていることがわかります。「できるところは全部終わった」割合はどの学年も国語より高く、「全く手をつけていない」割合は国語より低いです。しかし、2年生の「全く手をつけていない」割合が10月より2月の方が上回っています。2年生のアンケート回答率が大きく上がった他、この頃から算数に対する苦手意識がでていることも考えられます

<家庭学習時間>



家庭学習の時間については、10月と2月で大きな変化は見られない中、2年生の45分以上の学習時間が数ポイントながら増えているのは素晴らしいことです。しかし、いずれの学年も「0分～15分」の項目が増えており、このことについては、様々な要因が考えられますが、文章表記から考察すると、「すでに教材が終わってしまっている」、「慣れてきて、教材や宿題がいいかげんになってきた」などが考えられます。

## <家庭学習時間の変化>



家庭学習時間の変化については、どの学年も「長くなった」と感じている保護者が約10%~20%近くいるという結果が出ました。文章表記からも、「自主的に学習するようになった」「計算が速くなった」「土日の学習時間が増えた」など、日々の家庭学習の様子を肯定的な目で見ていただいております。それが、結果につながっていると思われます。特に1年生では、2月の方がその割合が増えており、効果があったと考えられます。

## 家庭学習用教材に関するアンケート文章表記まとめ <平成25年2月実施分>

### 【教材について】

○ 内容については概ね高い評価で、配布に対しても肯定的な意見が多くありました。

- ① 反復練習ができ、身につけやすい。(多数)
- ② 復習に適している。(多数)
- ③ 達成感が味わえる内容である。
- ④ 適度な難易度で、できることで自信がつく
- ⑤ 多くのドリルの中から、保護者では選定しにくいので、配布はありがたい。
- ⑥ 学校の宿題とは、少し違った問題ができてよかった。
- ⑦ バランスがよい教材であった。
- ⑧ 時間のある好きなときにできるところが負担なくできてよかった。

○ 内容等に対する要望も出ております。全て取り入れることは難しいですが、より活用していただくよう、今後取組の工夫等検討して参ります。

- ① ドリルは、教科書に準拠したものがよい。特に漢字。
- ② カラーやイラストがほしい。
- ③ 配布の時期は1学期始めがよい。
- ④ 1冊ではすぐに終わってしまう。継続して配布してほしい。
- ⑤ 配布はありがたいが、なかなか有効に使えない。
- ⑥ 国・算別冊、レベル選択制、図書券配布、切り離し式、簡単すぎる等
- ⑦ 文章問題、応用問題、読解問題が入っているものがよい。

### 【教材の使用方法】

- 様々な提案もいただきました。今後、市または学校において検討して参ります。
  - ① 期間や回数を限って、学校に提出しチェックする。
  - ② もらってしばらくは意欲的にやっていた。子どものやる気向上と持続のための工夫。
  - ③ 学校や先生からの声かけ「今日は〇ページできるよ。」
  - ④ 朝学や授業での使用。
  
- 平日は時間的に余裕がないという意見が多い中、下記のように工夫して使用していただいています。
  - ① 土日などの休日や長期休業期間中に復習として使用している。
  - ② 土曜フォローアップ教室やふれあい教室等で使用している。
  - ③ 習い事のない日にしようと決めて取り組んだ。
  - ④ 朝やすきまの時間 10～15 分程度の時間で取り組んでいる。

### 【教材使用の効果】

- 以下のような効果が意見として多数出ています。
  - ① 学習の習慣がつき、自ら進んで学習するようになった。(多数)
  - ② 計算が速くなった。
  - ③ 字がていねいになった。
  - ④ 集中力がつき、学習に対する興味が深まった。
  - ⑤ 平日だけではなく、土日や休日に学習する習慣がついた。
  - ⑥ 子どもだけに任せるのではなく、やはり保護者の関わりが大切だと感じた。
  
- 一方で、子どもの負担になり学習時間が減ったという意見も少数ありました。

### 【家庭学習用教材推進における課題】

- 各家庭で教材が思うように活用できなかった要因としては、以下のような点が上がっています。
  - ① 宿題だけでいっぱい状態。やる気も時間も余裕がない。
  - ② 他の教材や習い事、遊び等で時間の余裕がない。
  - ③ 期限なし、提出なし、学習がきらい等でやる気がない。

### 【保護者の悩み】

- 保護者の悩みとして以下のような点が多数あがっています。
  - ① 子どもが「わからない」「教えて」といったときに、今のやり方と昔のやり方が違うことがあり、教えることが難しい。
  - ② わかりやすく教えるのが難しく、子どもを感情的に怒ってしまい、やる気を損ねてしまうことがある。また、子どもも親に甘えてしまっている。
  - ③ 机に向かわせるまでが大変。子どものやる気を引き出す方法はないか。
  - ④ 親も子も忙しく、なかなか時間がとれない。
  - ⑤ 子どもの集中力が続かない。
  - ⑥ 習慣づけがなかなかできない。
  - ⑦ 我が子が全く学習内容を理解していない。授業についていけないのか心配。
  - ⑧ テレビやゲームの時間が長い。また、“ながら”勉強をしている。

今回の取組に対するアンケート結果から、保護者の皆様が家庭学習に対して肯定的にとらえ、前向きに取り組んでいこうとしておられている様子をうかがい知ることができました。それだけに、思い通りにいかないもどかしさや様々な悩み、苦労も感じられるのだと思います。

特に①のような意見も多くあり、今後、ますます学校と家庭の連携が必要となってくると考えます。

上記のような保護者の皆様の悩みを少しでも解消できますよう、学校や教員は一人ひとりの子ども達のために、全力で取り組んで参ります。今後とも、保護者の皆様のご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

## ○四月開園の四條畷あおぞら幼稚園通園送迎車の披露会（ひろukai）が行われました



3月4日（月） 4月開園の四條畷あおぞら幼稚園通園送迎車が披露されました。車体のデザインは本市観光大使で国際的な絵本作家の谷口智則さんによるものです。車体には「ネズミ、サル、ウサギ、ネコ、リス、キリン、トリ、コアラ、パンダ、シロクマ、ライオン、トラ、ゾウ」の楽しいデザインが描かれており、幕が取り除かれ車体が見えた瞬間、出席したおかやま幼稚園・えせび幼稚園園児から大きな喜びの歓声がおこりました。

谷口智則さんが描いたオリジナルデザインで世界に1台しかない通園送迎車を、戸谷健三教育長から「走る絵本」と紹介されました。通園送迎車は多くの子どもたちの夢を乗せて、この4月から市内を走ります。



園児によるくすだまわり



通園送迎車をバックに記念写真



谷口智則さんと教育長さん



四條畷あおぞら幼稚園章完成

## ○4月からは中学生！田原小学校6年生が中学校で授業を体験しました。

もうすぐ小学校を卒業し中学校に進学する田原小学校6年生が、田原中学校で体育・理科の授業を受けました。これは、小中一貫教育の取組みとして中学校での授業を体験することにより、小中学校間の段差を解消させ、スムーズに中学校生活をスタートさせることをめざしています。

これまで田原小中学校間では、教職員の合同研修会、中学校行事への参加、校内授業研究会などを通して、小中学校9年間の連携を深め、子どもたちが小中の違いによる戸惑いやギャップを少しでも取り除こうと熱心な交流を深めてきています。小学校で培った学力を、中学校においても違和感なく思いっきり力を発揮し、中学校生活を有意義に過ごしてくれるものと期待しています。



夏季合同研修会「小中の段差をなくそう」 体育の授業を見学



理科授業「ガスバーナーの使用方法」「ガスバーナーでシャボン玉を飛ばそう」

